



子どもの本専門店「メリーゴーランド」店主が来てくれました。

11月29日(金)、常磐地区にある子どもの本専門店「メリーゴーランド」から、店主 増田 喜昭さんに来校いただき、『本は自分で選ぶのだ』というテーマで話をさせていただきました。2限目に4～6年生、3限目に1～3年生に分かれて2回講演していただきました。最初に、増田さんがコマまわしの特技を披露していただきました。手のひらで「ひょいっ」とコマを回すと、子どもたちは身を乗り出し、コマがひもの上を綱渡りすると、「わあ!」と歓声が上がっていました。その後、引き続き「だるまさんゲーム」(「だるまさんが」という言葉を頭につけたときだけ、その動作を行う)をしました。1年生も「保育園でやったことあるよ」と、元気に答えていました。「だるまさん」と言っていないのに思わず動いてしまい、近くの子と手をたたいたり、顔を見合わせたりしていました。高学年と低学年に合わせた内容で、子どもの頃に本と出会うことの大切さについて、たくさん話していただきました。絵本作家 あべ弘士さんの「動物クイズ」や、詩人 谷川俊太郎さんの詩を紹介され、本の世界の面白さに魅かれていくようでした。



小学生の時期は「ゴールデン・エイジ」と呼ばれ、運動神経をはじめ、さまざまな力が伸びる時期だと言われています。本日の話では、保護者や教員といった大人にこそ読んでほしい本のことや、フィンランドに行った時の体験についても話され、「本はただ読むだけでなく想像しながら読むものだから、同じ本の同じ場面を読んでも、人それぞれが違うイメージを持っているはずだ」という話を聞かせていただきました。

講演後は、一人一冊、自分の読みたい本を選びました。選んだ本は手続き後に、学校図書館や交流室に入る予定です。参加していただいた保護者の方々、読書指導員の方々にも本を選んでいただきました。ありがとうございました。

子どもたちは普段の学校生活では見られないような表情を見せ、とても充実する時間となったようでした。

社会見学に出かけました。(3年生)

11月28日(木)、3年生が社会見学に出かけました。「わたしたちのまち四日市市を知ろう!」というテーマで、「四日市市南消防署」「四日市港ポートビル(うみてらす14)」の2か所を訪問し、職員の方から話を聞いたり、施設を見せてもらったりしました。四日市市南消防署では、消防士が消防服に着替えるまでにどれだけの時間がかかるのかを目の前で実際にやって見せてくれました。はしご車がどれだけ高いところまであがっていけるのか、全員が実際にはしご車に乗せていただき、消防士さんと一緒に、20mぐらいの高さまで昇っていきました。子どもたちは「キャーキャー」と言いながら、その様子を眺めていました。「四日市港ポートビル うみてらす14」では、まず、マスコットキャラクターのポルテ君が四日市港をわかりやすく案内してくれるナビゲーションシアターを見ました。その後、館内職員の方に展望案内をしていただき、自由見学の時間となりました。子どもたちは、実際に船を操縦している気分になれる「あなたも船長」、四日市港をつくった稲葉三右衛門さんの偉業を紹介する紙芝居シアター、四日市港に関するクイズ、四日市港のパズルなどを楽しんでいました。四日市港ポートビルの14階からは四日市港が一望でき、輸出車が船に積み込まれる様子や輸出入のコンテナが運び込まれる様子がよく見えました。話をさせていただく職員の方やバスの運転手、訪問先で出会う方々に大きな声であいさつができていました。室外で車が通ったり、場所が広くて声が届きにくかったりしたこともあったと思いますが、しっかりと話を聞いて質問している子が多かったです。話をしている職員の方に近づいて話を聞こうとしている人もいました。4年生でも社会見学があり、5年生では自然教室、6年生では修学旅行が控えています。その場の状況に応じて、どうしたらしっかりと相手の話が聞けるのか、一人ひとりが考えて行動できるようになることが大切です。今回の経験を、今後の校外学習に活(い)かして行ってほしいと思います。



「年末の交通安全県民運動」が行われています。

令和6年12月1日(日)～10日(火)の10日間「年末の交通安全県民運動」が実施されています。「横断歩道における歩行者優先の徹底と安全な横断歩道の実践」「自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール順守の徹底」等があげられています。地域、保護者の皆様、ご協力をよろしくお願いします。

(文責 北住 昌文)